

ひらんぽ



9/10
(土)
開催

音楽でリフレッシュ!
@メセナひらかた会館

『10周年記念コンサート』

～音楽と愛する仲間とともに～



最後は、「継続は希望なり。これからもよろしく」ということで、参加者皆で大合唱。ほぼ満員の観客も一体となって音楽を楽しみました。これからの10年も楽しみます。
(文・向井 範雄／写真 協力・古布 啓治)



8/26
(金)
開催

サークル風



サプリ村野学校



『みんなでつくる笑いの世界』

サークル風による体験講座のぞいてみると、黒幕、ござ、組み立て式の出入口などで、上手にお笑いの舞台ができています。大型紙芝居、漫才、演劇などを演じるのは、10人くらいのメンバー。参加者もかなり若い人たちが集まって、発声練習や早口言葉も全員で。漫才や演劇もオリジナル脚本らしく、最近のニュースも取り入れられ、とぼけたキャラクターの方や、女性の青年役など、とにかく笑えました。「楽しんで練習、施設訪問などもやってます」とのこと。この機会にメンバーも増えたのではないだろうか。

(文・高橋 佳子)



7/15(金)初めての水墨画《水墨画桂会》

8/6(土)親子で防災ラジオをつくろう
《パナソニック松愛会ハムクラブ》9/14(水)ひまわり畑の絵本講座
《保育ボランティアの会ひまわりママ》

今後の予定

10月14日・21日(各金)「寄付と支援者を増やすコツとポイント【基礎編】」

《ひらかた市民活動支援センター》

17日(月)「ソウタシエのブローチを作る」《リハビリ工房》

24日(月)「バランスストレッチ」

《YBC(笑)ースポーツ応援クラブー》

13日・20日・27日・11/3(各木)「60歳からの演劇入門」

《スティックシアター》

11月4日・11日(各金)「寄付と支援者を増やすコツとポイント【実践編】」

《ひらかた市民活動支援センター》

15日(火)「ふれあう子育てのススメ」《苺のいえ》

18日(金)「NPOを学ぶ講座」《ひらかた市民活動支援センター》

23日(祝)「心理学によるコミュニケーション・スキル」

《京阪総合カウンセリング》

24日(木)「イベント・行事をPR!伝わるチラシ作り入門」

《ひらかた市民活動支援センター》

15日・29日・12/6日(各火)「健康体操100歳を元気に生きよう」

《健康体操 五導術》

★詳しくは、広報ひらかた、またはひらかた市民活動支援センターのホームページをご覧ください。

<http://hirakatanpo-c.net/manabis/sapurimuranogakkou>

今年度は、「サプリ村野学校」として、通年で行う講座や体験授業を実施しています。9月までに、13講座が終了し、これをきつかに、団体に入会したり、続けて教室に通う方も増えています。

実施団体も、会員獲得に向けて、さまざまな趣向を取り入れて、初めての方でもできる内容を行っています。今後も楽しい講座が盛りだくさんです。

6/18
(土)
開催

みんなの防災「災害弱者について考える」



私たちの身の周りで、災害弱者となるのは？どんなことに困るのか？など、さまざまな視点から「災害弱者」について考える講座が行われました。

一般的には、高齢者や障害のある人、乳幼児や妊婦さんなどが「災害弱者」だと考えられます。災害時に自力での避難行動が困難であったり、避難生活時に困ることが多いという視点で考えると、外国人や、その土地をあまり知らない旅行者なども「災害弱者」です。

また、障害といっても、身体が不自由な方、見た目にはわからない内部に障害がある人など、さまざまです。大切なのは、自分も含めて、災害時にどういったことに困るか、また周りにいる配慮を要する人は、どんな助けが必要とするかを普段から話し合い、薬や食料等を備え、助けてもらえる人、お願いしておくことです。

後半、皆さんの意見を聞きながらのワークショップでは、それぞれの環境や家族構成、立場の違いによる行動、意見を確認し、改めて自分たちの身の周りを点検する重要性について感じる講座となりました。(文・重村雅世)



今年度は、小学生を対象とした「防災小学校」の依頼が多く、3校で実施しました。

「土曜参観」や「防災キャンプ」「子ども会の防災イベント」など、さまざまな行事の中で、PTAや自主防災会の皆さんのご協力のもとで行いました。

ひらかた市民活動支援センターの「えんとも」チームとしては、登録団体と共に、子どもたちに学んでほしい、覚えてほしいと思う、さまざまな防災プログラムを実施しました。どの小学生も、しっかりと考え、さまざまな課題について真剣に取り組んでいました。





2016年度ひらかた防災学校

キッズ防災EXPO

子どもだけで学んで考える防災イベント！

参加無料

1/22 日

じかん：10:00～12:00
ばしょ：サプリ村野(枚方市村野西町 5-1)

共催：枚方市・特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター

報告

えんともでは、枚方まつり2016で販売した商品の収益金を熊本で活動するNPO等のための支援金に寄附することになりました。

相次ぐ災害の中で、多くのNPOが現地でごんばっています。

一緒に応援していきましょう！



6ページに
関連記事あり

来年1月には、サプリ村野で、小学生対象の「ひらかた防災学校・キッズ防災EXPO」を開催します。さらに、プログラムを増やし、楽しく学べる防災イベントを企画中です。ぜひ、ご参加ください。詳しくは、11月末から、順次HPに掲載していきます。

留守家庭児童会室 市民参画事業

今年は、夏休み期間中の7月21日から8月25日まで、枚方市内45の留守家庭児童会室で、16団体が26プログラムを実施しました。

例年になく、暑い日が続く中、室内でも団体の皆さんは、いっぱい汗をかきながら、子どもたちが楽しめるプログラムを実施していました。児童数が毎年増えており、体験プログラムの場合、既定の時間内で終わることが難しくなるほどです。

この事業をきっかけに、地域や学校から呼ばれる団体も増え、活動を広げるきっかけになっているようです。



ちょこっとレポ

「保育ボランティアの会ひまわりママ」のアナログゲームを見学しました。団体の皆さんは、今回初めて市民参画事業の参加だったのですが、子どもの惹きつけ方が上手く、みんな集中してゲームに参加していました。

私自身、小学生の子どもがいますので、以前から、この事業について興味がありました。長い夏休みで退屈しがちな子どもたちに、普段できないことを体験させてあげる企画があるのは、とてもよい経験になると思います。また、普段あまり接点のない世代が交流できる場であることも魅力的だと思います。

(絹川 千晶)



枚方市NPO活動応援基金 平成28年度登録団体決定！

【保健・医療・福祉】

- ・遊びりテーションわくわく枚方
- ・関西医科大学外科臨床研究推進機構 KMU surgeons
- ・関西生活文化研究会おでかけ
- ・北河内ボランティアセンター
- ・コーチズ大阪
- ・ひまわり七宝
- ・枚方市障害者事業協会
- ・福祉サービス評価WACCH
- ・夢桜ホーム

【学術・文化・芸術】

- ・大阪視覚障害ゴルフーズ協会

【まちづくり】

- ・自然災害・地域防災対策支援センター
- ・すがはらひがし

【子ども・男女共同参画】

- ・大阪メチャハッピー祭in枚方実行委員会
- ・子育てネットくるみの会
- ・ふれあいネットひらかた

【その他】

- ・つばさの会大阪

※特定非営利活動法人(NPO法人)は省略。



平成28年度の枚方市NPO活動応援基金の登録団体が決定しました。この基金は個人や企業など皆様からの寄附を財源とし、枚方市内のNPO法人を支援し補助する制度です。登録団体となったNPO法人は、補助を希望する事業の申請が可能となります。

皆様からの寄附を随時募集中です。寄附額に上限・下限はありません。団体や活動分野を指定して寄附することもできます。寄附した場合、今年度から、「枚方市ふるさと寄附金」のメニューの一つになりました。返礼品と税優遇制度があります。寄附の方法は、市の窓口で直接寄附する方法と、クレジットカードを使って寄附する方法があります。

寄附の申込・問合せは、下記まで。

枚方市役所市民活動課 * TEL:072-841-1273

ひらかた市民活動支援センター

TEL:072-805-3537

<http://hirakatanpo-c.net/npokikin/index.html>



「この際なんで、「NPO」とか、「市民活動」のことを聞いておきたいのですが。」
NPOは、Nonprofit organizationの略。非営利活動団体は、その日本語で、利益を目的としない団体のことです。NPOの法人格は、大阪府や枚方市で申請でき、

「いつも事務所の奥で静かに仕事をしておられますが、謎が多いですよ。」
光善寺に住んでる枚方市民ですよ。このセンターに勤めて15年ですが、開設1年目位に、職安で募集があったんですね。ちょうど失業中で、NPOでも生活できるんやと応募して、現在に至っています。

新にんげんウォッチング

「10年たてば、

団体は半分に？」

ひらかた市民活動支援センター 事務局長

中村 仁美さんに聞く

主たる事務所によって、申請先が変わります。ひらかた市民活動支援センターは、約14年前にNPO法人格を取得したんですよ。

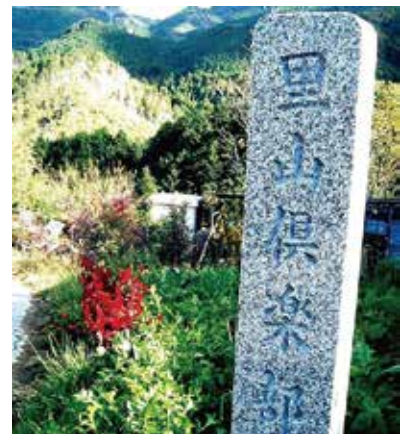
「NPO法人格をとると、どんなメリットがあるんですか？」

何となく信用できるような気がする。助成金の応募にも持つての方がいい。行政の委託事業も受けやすい、という点ですね。ただ、会計報告など厳しい決まりがあるので、めんどろがられる団体も多いですね。

ひらかた市民活動支援センターでは、法人格を持つていなくても、利他性、公益性のある活動を始めようとする人たちを支援します。多くの人の課題を解決していこう、いずれ多くの人に支えられて広がるだろうという活動ですね。

「はじめは自分がやりたい、好みにあったものでもいいわけですね。」

そうですね。たとえば私も、このセンターに勤務する前から、「里山倶楽部」に所属しています。南河内の古老で、月1回「歳時記に



学ぶ」講座を受けたことがきっかけです。里山の邪魔な木を伐採、炭を焼き、その炭でコーヒーを煎って販売し、収益を活動資金に再投資しています。コーヒーが好きなんです。豊かな自然に思いを馳せ、深い香り、優しい味わいを楽しむのは、最高のひとときですね。

「里山暮らしですか。あこがれるけど大変ですよ。」

里山も今では電気、ガスが入り、自給自足の自然の循環が成り立っていない。私も三重県の鳥羽市の出身で、実家に帰れば里山暮らしができるのですが、若者が里山で生きていこうとするなら、何か新しいチャレンジをしなきゃ生活が成り立っていかないですよ。

社会全体にゆとりがなくなっている。皆、65歳まで働き、専業主婦も減っている。市民活動を担うボランティアが減り、その分、職員が忙しくなってる気がします。

「毎日勤務され、いろいろな団体と接してられる職員の意見は貴重だと思いますが。」

職員が主体になる活動ではだめ。市民活動は自分たちで始め、決定していくもの。このセンターの意思決定をするのも、市民が運営委員を務める運営委員会です。全員ボランティアなんです。このセンターは団体と一緒に成長してきましたが、最近、古くからある団体の解散が始めました。10年たったら、今センターに登録している団体の半分くらいは活動をやめてるかもしれません。同世代だけで固めていると、次の世代に引き継がれない。若者を巻き込むこと。間口を広く入りやすく、楽しい活動をアピールしていく。それがこれからの市民活動の団体に必要なことだと思います。



職員の皆さんはいつも忙しそう。話にくい気がありますが、やりたいことがあれば、どんどん話してくださいとのこと。まず枚方を愛することから始めなければ。(高橋 佳子)



枚方まつり2016



この夏の2日間、8月20日・21日に、枚方まつり2016が開催されました。

ひらかた市民活動支援センターの登録の9団体は、岡東中央公園の会場で、ヨーヨー釣りや焼きそば、かき氷など、普段の活動にはない出店をし、にぎわいを見せていました。

当センターは、例年の東北の物産に加え、今年は、熊本と大分からも物産を仕入れ、販売しました。

イラストだより



ウィーンはシックでエレガントな大人の街です。そして、街のいたるところにハプスブルグ家の歴史が息づいています。

ウィーン大学の学食で鱈のランチを食べ、映画『第三の男』にも登場したカフェ『モーツァルト』でコーヒーを飲めば、気分はすっかりウィーンの住人。

メインストリートのケルトナー通りで、ウインドショッピングをし、夕食にビールを飲めば言うことなし！ (イラスト・文/向井 範雄)



中でも、気仙沼のふかひれスープと枚方の恩地うどんをコラボさせた「ふかひれうどん」に、熊本の馬肉をトッピングした商品は、暑い日にもかかわらず、多くの方に関心をもっていただきました。

編集後記

例年以上に暑さを感じた夏が過ぎましたが、今年は台風が各地で猛威をふるっています。九州方面も地震に加え、水害も重なり、心配されるところです。幸い枚方では、大きな被害は出ていないようですが、この油断が怖いのも確かです。「備えあれば憂いなし」まずは、自分の身の回りから。(編集者・S)

【編集・発行】

特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター
〒573-0042
大阪府枚方市村野西町5-1サプリ村野内
TEL: 072-805-3537 / FAX: 072-805-3532
Eメール: info@hirakatanpo-c.net
http://www.hirakatanpo-c.net/